

団体概要書

(その1)

団体名	公益社団法人 浪曲親友協会	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 (<input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) きょうやまこうしわか 会長 京山幸枝若		
主たる事務所の所在地	大阪府中央区内本町一丁目 1 番10 号 五苑第2 ビル302号室		
設立年月	1896 年 4 月	構成員数	42名
事業年度	4 月 1 日 から 3 月 31 日		
団体の活動目的	浪曲公演活動を通じて、日本の伝統芸術文化「浪曲」を保存・継承し、さらに普及する活動により、わが国の伝統文化発展に寄与することを目的とするとともに、その目的を達成するため、次の事業を行う。 ・日本の伝統芸能文化「浪曲」の保存・継承する事業 ・福祉施設への慰問事業 ・浪曲に関する調査研究 ・後継者の育成事業 ・公的機関等が実施する事業に協力して浪曲の普及啓発を図る事業		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 14浪曲		
主な活動内容	1.一心寺門前浪曲寄席：原則として毎月第2土曜日から連続3日間、年間36日公演 2.築港高野山みなと浪曲寄席：偶数月の第3土曜日、年6回公演 3.初夢で「見たよ、聞いたよ」浪花節：毎年1月4日開催 4.関西浪曲特選会：年1回（東京開催） 5.浪曲まつり：毎年8月30日 6.住吉大社浪曲寄席：年1回 他、共催事業：国立文楽劇場にて浪曲名人会、浪曲錬声会・NHK東西浪曲大会、等		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 新型コロナウイルスの影響等により観客数の伸び悩みはあるものの、定席公演である一心寺門前浪曲寄席・築港高野山みなと浪曲寄席や新春公演の初夢で「見たよ、聞いたよ」浪花節・東京開催の関西浪曲特選会の協会主催活動に加え、大阪市内外の地域住民と連携した公演活動や浪曲ファンとの交流活動を毎年継続開催してきている。 特に、平成6（1994）年に開設した一心寺門前浪曲寄席は、毎月3日間の開催で、令和7年12月まで378回を数えている。また、みなと浪曲寄席は、令和5（2023）年に開設し、年6回開催の定席寄席で、同じく17回を数えている。いずれも関西浪曲の定席寄席として、ベテランと若手浪曲師との間で指導・育成や切磋琢磨しながら、浪曲の魅力を伝え続けている。		
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> (URL http://www.rokyokushinyu.org/) / 無		
機関紙	有 (機関紙名) / <input checked="" type="checkbox"/> 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>テーマ：「浪曲を未来につなぐ」</p> <ol style="list-style-type: none">1. 技芸の向上2. 若手の育成と世代交代3. 観客数の伸び悩み（新型コロナウイルス感染症の影響やファンの高齢化等）4. 若いファンの獲得5. 社会や地域との連携
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>未来につながる浪曲の継承・発展と改革の推進</p> <ol style="list-style-type: none">1. 公演事業・活動の魅力向上 この間中心となってきたベテラン・中堅と徐々に力をつけてきた若手が両輪となり、総力を上げて質の高い魅力ある公演を提供していくことが必要である。そのためには、技芸の向上に向けた不断の修練と公演機会の確保が欠かせず、本支援を受けて、安定的に中堅・若手を起用できる定席公演の場を増やしていきたい。2. あらゆる世代への情報発信 令和6（2024）年に「浪曲語り」が重要無形文化財に指定され、メディアへの露出や浪曲寄席への問い合わせが増加している状況を逃さず、これまでの浪曲ファンのみならず、若い世代を中心とした新たな顧客の獲得に向け、SNSの活用やメディアへの情報提供に加え、ホームページのリニューアルや動画配信に取り組むなど、さまざまな情報発信ツールを駆使していきたい。3. 低廉な入場料金の設定 昨今の物価高騰の折り、世代を越えて多くの方々に比較的低廉な価格で気軽に来場でき、浪曲を楽しんでいただくことができるようにしていきたい。4. 社会や地域への貢献 近年、地域やさまざまなコミュニティの活性化が課題となっている状況のもと、公益社団法人である当協会の活動が社会や地域への貢献につながることを意識し、浪曲という大衆芸能文化を通じて連携・協力していきたい。
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>浪曲（浪花節）のルーツを遡れば800年も昔に遡り、港区の築港高野山釈迦院には、浪曲のルーツ藤原澄憲（ちょうけん）碑があります。</p> <p>平安時代、社会教化を目的とした祭文（さいもん）・長歌連（現在の浪曲）を世に広めた、浪曲の元祖「藤原澄憲（1126年～1203年）」碑を、大正6（1917）年に関西浪曲界の元締二代目広沢寅吉が建立しました。（戦後、当団体が再建）</p> <p>浪曲の演題は、庶民的な義理人情を訴える作品の他、武芸物、出世物、大阪で人気のケレン物と呼ばれるお笑いなど多種多様で、一度浪曲寄席にお越しいただければ浪曲の面白さがわかると確信しています。</p> <p>親子の愛、師への尊敬、忠義、礼節など次世代に伝えたい「誇るべき日本」の姿を三味線との掛け合いで、声の迫力、節、啖呵で表現し、令和6（2024）年に重要無形文化財に指定されたわが国を代表する伝統文化で、幅広く浪曲を聞いたことのある世代だけでなく、浪曲を知らない世代の方々に大阪の芸能文化である浪曲を見聞きしていただきたいと思っています。</p> <p>是非、大阪の誇れる文化として、今後とも「浪曲」（浪花節）をご支援いただきたくよろしくお願い申し上げます。</p>